

ボーケン品質評価機構

現地密着のパートナー戦略

ASEAN 3 拠点で連携



海外事業本部アセアン担当 ホーチミン試験センター所長

村松 慶一 氏

執行役員
海外事業本部長

見座 宏昭 氏

ベトナムのホーチミン試験センターは、ボケンのASEAN地域における基幹拠点の一つ。拡大するベトナム縫製に対応した品質試験を担っている。近年、ベトナムでも付加価値の高い生地による縫製が増加した。このため試験機関に求められる試験内容も高度化している。このためホーチミン試験センターはボケンの国内

タイのバンコク試験センターは、タイ国内だけでなくカンボジア

環境測定や内販支援も重視

周辺国からも依頼獲得

バンコク試験センター

の各試験センターや提携する大手試験機関であるSGSと連携し、機能性試験や化学分析試験にも対応すること。現地のニーズに応える。

雑貨、家具まで対応

機能性試験も拡大

ホーチミン試験センター



化学分析への幅広い対応も可能

ボーケン品質評価機構（ボケン）は、ベトナム、タイ、インドネシアの3拠点を連携し、ASEAN全域をカバーするネットワークを構築している。アジアの繊維産業で大きなウェイトを占める中国とASEANをつなぐことで、日本の繊維企業の品質課題を解決する存在として、現地密着のパートナー戦略を推進している。

る。

また、アパレル製品だけでなく最近では雑貨や家具の試験も増加している。ボケンはい

既に国内で雑貨や家具の品質試験で豊富な実績を持つ。これを生かしてベトナムでの雑貨、家具の試験も拡大を進める。引き続き機能性試験の対応力を強化する。雑貨や家具の試験の認知度も高め、試験依頼の拡大を目指す考えだ。また、ハノイなどベトナム北部の開拓にも取り組む。現在、ベトナム北部には中国系の大規模縫製会社が多い。こうした縫製会社が生産する日本向け製品の試験依頼獲得を目指す。

に於いて、工場環境測定やタイ内販への支援にも力を入れる。タイの繊維産業は縮小傾向が続く。このためバンコク試験センターはカンボジアのプノンペンに事務所を設置し、カンボジアでも試験受け付け・サンプル受け付けを実施している。また、ミャンマーからの試験依頼にも対応する。タイだけでなくカンボジアやミャンマーなどを含めたインドシナ地域のハブ拠点としての役割を担う。品質試験に加えて、

ジャカルタ試験センター

化学分析も強み

中部ジャワで取り組み強化

インドネシアのジャカルタ試験センターは、機能性試験や化学分析を拡大してきた。日本の各試験センターとの連携に加え、SGSとの連携による対応力が強みだ。インドネシアでも近年は機能性試験の依頼できることも強みとなる。

品質試験や機能性試験を發揮している。また、

インドネシアでも近年は機能性試験の依頼

できることも強みとなる。

インドネシアの繊維産業は、ジャカルタ近郊から西ジャバ州のバンドン、さらには中部ジャワ州のスマランなどに急速に移転している。このため



タイ語への表示変換サポート業務の様子（タイ）

ことから、タイ内販に取り組み、日系企業に対する支援にも力を入れる。例えば内販する製品に添付する表示の翻訳や表示内容に関して現地の法令に対応するためのアドバイスなどだ。品質試験から環境測定、さら

には内販の支援までバンコクをハブとして幅広いサービスを提供することで存在感を高める戦略だ。

めジャカルタ試験センターも中部ジャワ地区の企業との取り組みを強め、試験依頼の獲得を進めている。

◇

家具の試験も充実（ベトナム）



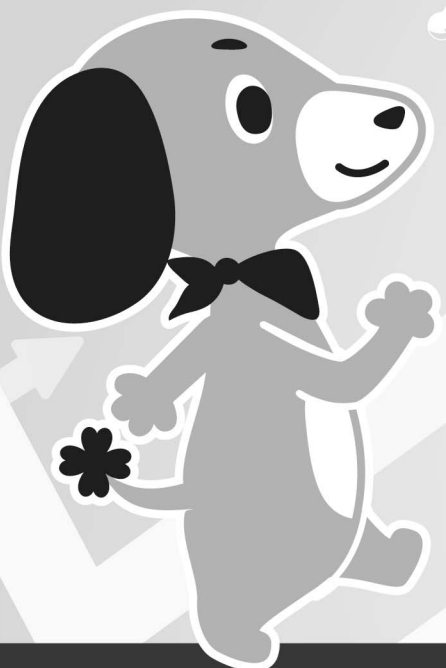
日本向け試験に対応した試験機が並ぶ（インドネシア）



移転している。このため

未来から選ばれる品質パートナーへ

商品の全てのプロセスで BOKEN はお客様を支援します



未来から選ばれる BOKEN へ

一般財団法人 ボーケン品質評価機構

〒135-0001 東京都江東区毛利1丁目12番1号

☎03-5669-1380

〒552-0021 大阪府港区築港1丁目6番24号

☎06-6577-0200

ボーケン

検索

<https://www.boken.or.jp>